

国土交通大臣政務官

根本 幸典 様

国の施策等に関する
提案・要望書

(平成28年12月)

鳥 取 県

日本海国土軸を形成する高速鉄道網の整備について

《提案・要望の内容》

- 日本海国土軸の形成やリダンダンシー確保の観点から、新幹線の空白地帯である山陰地域における山陰新幹線の整備に向けて、全国新幹線鉄道整備法の基本計画路線に止まっている山陰新幹線の整備計画路線への格上げを図ること。
- また、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、国内外から観光誘客を積極的に行うためには公共交通の高速化が重要であることから、JRを含む在来線の高速化に向けた国の助成制度の創設等を行うこと。

<参考>

1 全国新幹線鉄道網の整備状況 (H28年12月)

全国新幹線鉄道整備法は1970年に制定され、以来約46年経過しているにもかかわらず、当時告示された基本計画路線19路線のうち山陰新幹線を含む10路線については、着工はもとより調査・計画の目途さえ立っていないのが現状である。



2 山陰新幹線の早期実現への動き

- ・H27年5月29日 「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」において、山陰新幹線の整備計画への格上げに必要なとなるB/Cを1.09と算定（対象路線は大阪を起点として福知山・豊岡・鳥取・松江・下関・福岡に至るルート）
- ・H28年6月27日 鳥取市議会において「山陰新幹線の早期実現に向け北陸新幹線小浜舞鶴京都ルート選定を求める決議」を採択
- ・H28年7月30日 「山陰新幹線の早期実現と北陸新幹線京都府北部ルートの決定を求める決起大会」を鳥取市で開催
- ・H28年10月26日 同決起大会を東京で開催

3 現行の在来線高速化整備に係る国庫補助制度（幹線鉄道等活性化事業）

(1) 幹線鉄道の高速化

高速輸送体系の形成の促進に資するため、第三セクターが行う在来の幹線鉄道を高速化するための鉄道施設整備に要する経費の一部を補助する。

- ・補助対象：在来の幹線鉄道を高速化するための鉄道施設整備に要する経費（土木費、線路設備費、開業設備費、用地費）
- ・補助率：補助対象経費の2/10以内

(2) まちづくりと連携した幹線鉄道の高速化

高速交通体系の形成を促進するため、（連続立体交差や駅周辺整備等沿線のまちづくりと連携して）第三セクターが行う、在来幹線鉄道の高速化に必要な施設整備の事業に対し、その費用の一部を補助する。

- ・補助対象：まちづくりと連携した在来の幹線鉄道を高速化するための鉄道施設整備に要する経費×80%（土木費、線路設備費、開業設備費、用地費）
- ・補助率：補助対象経費の1/3以内

若桜鉄道に対する補助事業の特例措置について

<<提案・要望の内容>>

○交流人口の拡大による地方創生を実現するため、鉄道利用者の利便性向上や鉄道を活用した観光振興等地域の活性化に繋げるための施設整備について、次のとおり財政状況の厳しい第3種鉄道事業者である地方公共団体（八頭町・若桜町）に対する支援の拡充を図ること。

- ①安全性の確保及び経営安定化を図るための鉄道軌道安全輸送設備等整備事業について、利便性向上につながる行き違い施設の整備などを対象事業に加えること。
- ②鉄道利用者の利便性向上を目指す幹線鉄道等活性化事業について、第3種鉄道事業者である市町村も補助対象とすること及び補助率の引上げを図ること。

<参考>

1 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業の概要

レールやマクラギ等既設の施設の老朽化に対して実施する修繕等に対して支援する事業であり、行き違い施設等は対象外。

- ・補助対象事業者：鉄軌道事業者
- ・補助率：国 1/3（「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく鉄道事業再構築事業を実施する事業者に対しては、財政状況の厳しい地方公共団体が支援する費用相当分について国 1/2）

2 幹線鉄道等活性化事業の概要

鉄道利用者の利便性向上を図るための施設整備等（行き違い施設含む）を対象としているが、第3種鉄道事業者である市町村は補助対象としておらず、また、財政状況の厳しい地方公共団体であっても補助率の引上げ措置はない。

- ・補助対象事業者：法定協議会又は第三セクター
- ・補助率：国 1/3

3 若桜鉄道の課題

(1) 若桜鉄道は全区間（郡家駅～若桜駅間約 19 km）単線で駅構内含めて行き違いができず、運行ダイヤが極端に制限され、効率的な車両編成や便数を増やして観光列車などを運行するためには、行き違い施設の設置が必要。

※若桜鉄道は平成 21 年 4 月の上下分離方式導入後、3 年間黒字経営であったが、平成 24 年度以降は赤字経営が続いている。

※列車の観光活用をはじめとする地方創生を目指す取組

- ・平成 27 年 4 月 11 日に SL 走行社会実験を実施。
→入り込み客数：13,468 人（目標 10,000 人に対し 135%）
- ・5 月 1 日を語呂合わせで「恋（こい）の日」と設定し、ゴールデンウィークの平成 28 年 5 月 1 日～8 日まで若桜鉄道の SL をピンク色に塗装。
→恋の日イベントの反響
【若桜駅の入構者数】4,362 人（昨年度の年間入構者数：約 3,000 人）
【若桜駅周辺の観光客数】約 18,000 人（若桜町の人口：約 3,000 人）

(2) 行き違いのイメージ

